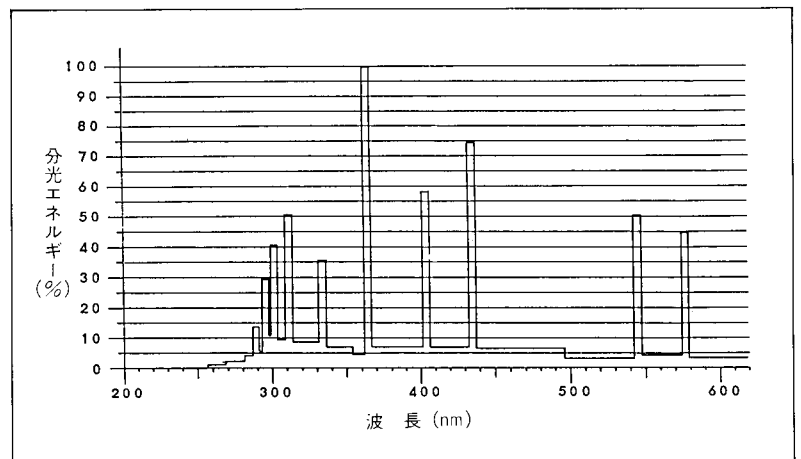


超高圧水銀ランプは、点灯中のバルブ内水銀蒸気圧を10気圧以上にして、電極間隙を短かくし、電流密度を増加させたもので、輝度の高い点光源として使用するランプです。

点光源はレンズや反射鏡によって簡単に光を制御できるため、精密な光学器械や、IC焼付機用などの光源として最適です。

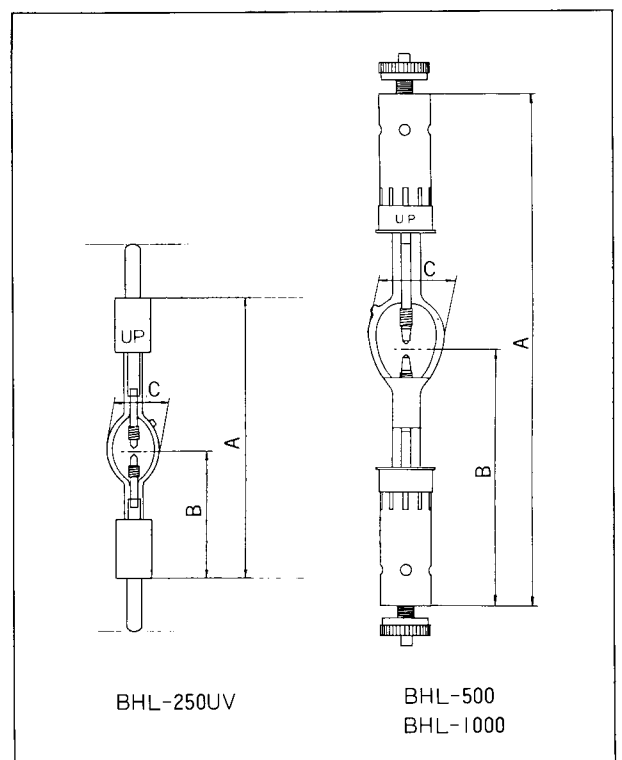
1. 半導体、IC焼付用
2. 拡大投影機
3. 蛍光顕微鏡
4. 探照灯
5. 光学器械



分光分布図

### ランプ定格

項目	BHL-250UV	BHL-500	BHL-1000
ランプ電力 (W)	250	500	1,000
ランプ電圧 (V)	37	50	65
ランプ電流 (A)	7.5	11	17
全光束 (Lm)	10,500	21,000	42,000
水平光度 (cd)	1,100	2,600	5,000
平均輝度 (cd/cm <sup>2</sup> )	28,000	22,000	35,000
平均寿命 (H)	200	200	200
全長長 A (mm)	118	200	220
光中心 B (mm)	53	100	105
バルブ径 C (mm)	22	30	40



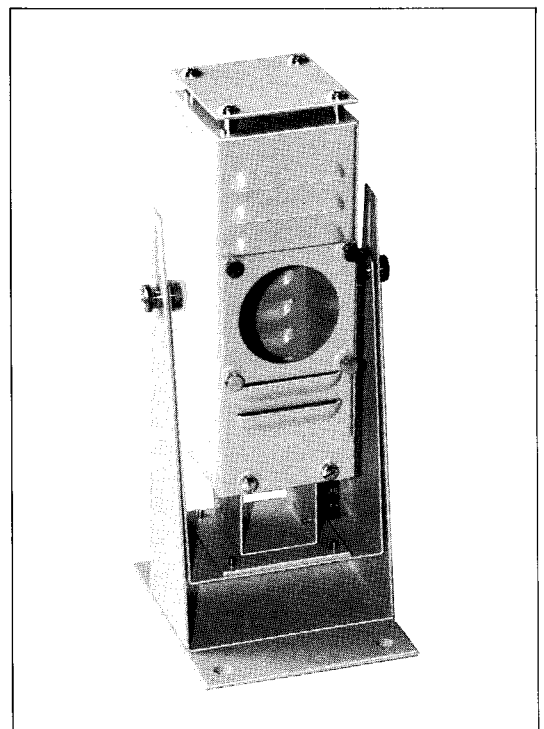
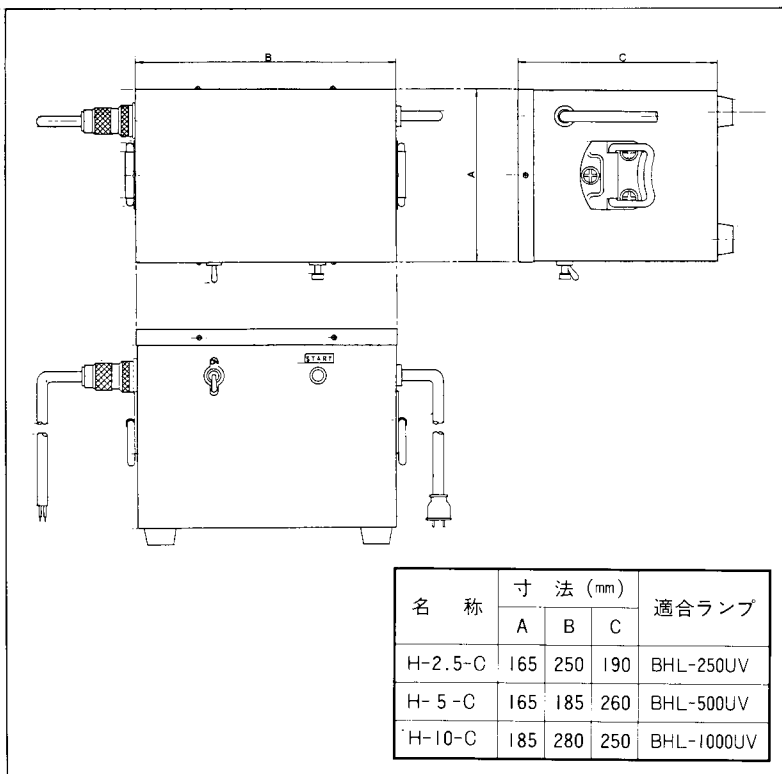
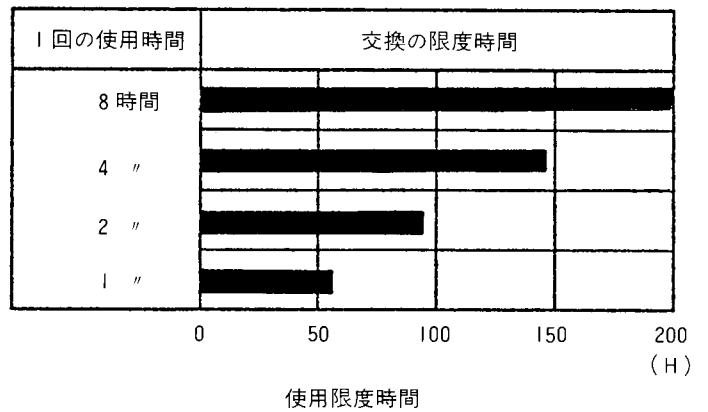
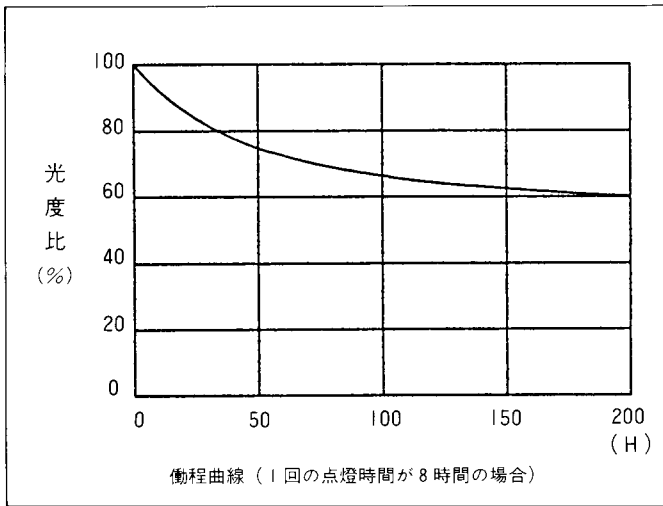
BHL-250UV

BHL-500  
BHL-1000

超高圧水銀ランプの寿命は、その殆んどが光度劣化によるものです。光度劣化の主な原因は電極物質の破壊で、電極附近より次第に黒化し、光の透過率が低下します。この現象は電極間隙が短いため影響が大きく、他のランプに比較して寿命は著しく短くなります。

また、電極物質の破壊によってバルブが黒化すると、バルブの温度が上昇し、更に蒸気圧が上ってバルブが破裂することがあるため、一定の時間使用したら、新品のランプに交換して下さい。

図は1回の点灯時間が8時間の場合の働程曲線と、1回の点灯時間を変えた場合のランプの使用限度時間を示したものです。



BHL-250UV用ランプハウス